

みんなの町議会



朝市での校外学習（五城目小学校）

目次

2012年7月1日

No.111

- 6月定例会の概要 2～3
- 一般質問に6名登壇 4～9
- 常任委員会の焦点 10～11
- 研修報告/請願・陳情・意見書送付/臨時会 ... 12
- あれ なんと となったべが！/全員協議会 ... 13
- 「いちび」をたずねて・がんばってます ... 14

6月 定例会

議会の概要

6月定例会は6月11日から15日までの5日間の日程で開かれた。

一般質問には6名が登壇し空き家対策、防災対策、農業振興策、地域医療の構築、生活基盤・環境など町政の諸課題について町当局に質した。

提出案件は平成24年度一般会計補正予算案、町印鑑条例改正案、専決処分の承認案など6件。

渡邊町長は行政報告で「千代田区内のビルに『五城目町東京千代田事務所』を開設した。企業誘致推進の拠点としたい。」と述べた。

各常任委員会の審査を行い、最終日は修正動議案を可決した。請願1件、陳情1件を採択。陳情1件を継続とし、委員会提出議案「救急電話相談室（#8000）の成人対応などを求める」意見書を可決して閉会した。

一般会計補正予算中の「し尿処理施設」と「消防庁舎」の建設に係って提案された、調査設計委託料を巡って議会が紛糾。

審査した教育民生常任委員会では、富津内地区町内会長会から提出された「消防署移転建設地誘致に係る陳情書」を多数で「不採択」とし、し尿処理施設建設事業にある調査設計委託料450万円を削減

除・修正した修正案を多数で可決した。（10・11ページ参照）
本会議で石川交三議員から陳情について動議が提出された。「委員会は不採択としたが富津内地区全体からの陳情であり願意を尊重すべきだ。議会が特定の場所を明確にするのは現時点では避けるべきで一旦立ち止まって再検討の必要があり継続審査を求めろ。」賛成者があり動議は成立し、起立による採決となった。

◆継続審査とすることに賛成した議員
佐々木仁茂・齋藤 晋
石井 光雅・佐藤 慶彦
伊藤 正春・荒川 達雄
佐藤 重信・荒川 正己
千田 峯夫・石川 交三

◆継続審査とすることに反対した議員
畑澤 洋子・館岡 隆
工藤 卓美・佐藤 成孝
澤田石亀雄

陳情は賛成10、反対5（定数16、議長除く）で継続審査と決した。

2議員が 修正動議案を提出

教育民生常任委員会で少数意見を留保した荒川達雄議員と佐藤慶彦議員から、し尿処理施設と消防庁舎建設に向けた調査設計委託料（2千413万円）を削除・修正する修正動議案が提出された。質疑のあと討論に入った。

原案に賛成の討論

澤田石亀雄 議員

し尿処理場も消防庁舎も以前からの町の懸案事項であり、老朽化が進み、建て替えが必要だ。し尿処理場は広域処理への移行が望めないため、当



本会議の様子

局提案通り建設すべきだ。

消防庁舎も前々からの懸念であったが、財政を考え今回、当局が提案したものだ。町当局は庁舎建設協議会を設置し十分に協議して答申した結果、結論が出ず、当局に付託し当局が結論をだしたものであるので問題ない。町当局は自信を持って執行することを望む。

修正動議案に反対の討論

館岡 隆 議員

教育民生常任委員会の表決で修正案を作成し提出した。また、委員会において十分話し合いの時間があつたにも関わらず、この場で修正動議案が出されたことに對し委員長として不本意である。よつて修正動議案に反対する。

原案に賛成の討論

佐藤 成孝 議員

教育民生常任委員として、し尿処理場及び消防庁舎建設原案に對して賛成である。時間をかけて審議し提案されたものだ。し尿処理場は老朽化が進み修繕費が毎年嵩み、新築した方が財政的にも良い。

消防庁舎は建設協議会を設置し執行部に答申したものであり、ここで反対すれば建設が遅れることから当局提案通り建設してほしい。

修正動議案に賛成の討論

石川 交三 議員

し尿処理場も消防庁舎建設も早急な建設の必要性は誰もが感じている。しかし重要事項でありながら3月当初の予算議会でも何ら説明も報告もなかった。総合発展計画の説明でも今年度、作業に着手するとは承っていない。消防庁舎について諮問された建設協議会の答申では適地について明確に述べておらず、甲乙つけがたいとしている。消防署員対象のアンケートでは朝市駐車場が12名、パンドラーメン

と築地町児童館近辺が10名、旧米山産業跡地はたった3名である。今一度立ち止まって冷静に判断すべきだ。

討論終結後、ただちに起立による採決となつた。

修正動議案に賛成の議員

佐々木仁茂・斎藤 晋
石井 光雅・佐藤 慶彦
伊藤 正春・荒川 達雄
佐藤 重信・荒川 正己
千田 峯夫・石川 交三
◆修正動議案に反対の議員
畑澤 洋子・館岡 隆
工藤 卓美・佐藤 成孝
澤田石亀雄

し尿処理と消防庁舎を除く他の案件について、最後に議長が原案賛成者の起立を求めた。

し尿処理と消防庁舎を除いた修正予算の原案に賛成した議員

佐々木仁茂・斎藤 晋
石井 光雅・佐藤 慶彦
畑澤 洋子・伊藤 正春
荒川 達雄・佐藤 重信
荒川 正己・千田 峯夫
石川 交三・工藤 卓美
佐藤 成孝・澤田石亀雄
◆し尿処理と消防庁舎を除いた修正予算の原案に反対した議員
館岡 隆

賛成多数で原案を可決した。

修正後の修正予算は7千350万9千円で、累計51億1千263万4千円。主なものは、太陽光発電設備設置事業2千940万円。火葬場修繕料80万円。えだまめ日本一産地条件整備補助金135万円。農業生産施設復旧支援事業費補助金823万円。空き店舗対策事業費補助金240万円。五一中の屋根補修費1千800万円。国民文化祭準備事業費40万円など。



町当局が適地とした場所

修正動議案は賛成10、反対5（定数16、議長除く）で可決と決した。総務常任委員会と産業建設常任委員会は付託された補正予算の委員会関係部分で「可決すべきもの」と決していることから、修正動議案に示された、



し尿処理場を視察

用語解説

動議とは？

会議の進行中に議員から口頭または文書で発議され、賛成者があれば成立し、議題となり議決される。

少数意見の留保とは？

会議規則第72条にあり「委員会で少数意見で廃棄された意見で他に1人以上の賛成があるものは、これを少数意見として留保することができる。」と規定されている。

減額修正とは？

町長が提案した予算について、議会が見解を異にし、納得できない場合、予算項目を削除または減額して議決するもの。委員会修正案と議員提案による修正動議案がある。

(石川 交三)

一般質問

地域医療を守るために 首長の役割りはなにか

町長 医療環境を整備することが重要



石川 交三
(日本共産党)

石川 湖東病院の現状の報告を求めたい。医師確保と建設に向けた作業はどうなっているか。

町長 4月から小児科に常勤医1名が配置され診療を開始している。9月には泌尿器科に常勤かどうかは未定だが、月曜日から金曜日までの週5日の診療体制がとれる医師配置となる。来年の4月には内科系の常勤医1名が配置予定となっている。今後とも病院、厚生連、大学などと連携をとって医師確保に取り組みたい。病院建設に向けての作業は、厚生連の臨時総会で病院改築が正式決定されたのを受け、経営管理委員会の承認により、全農東北広域施設事業所・JA設計の共同企業体に設計業務委託をし、基本設計段階だ。年内には実施設計までの業務が終了予定であり、来年2月



新病院の建設予定地

の工事着工に向け、計画通りの進捗となっている。

石川 町長の役割りは？

町長 住民が住み慣れた地域で、将来にわたって安心して生活するためには、持続可能な「地域医療」を構築しなければならぬ。医療を地域全体で守っていくという意識醸成が必要だ。私自身も町民とともに病院を理解し、連携を深めることにより、病院・医師が「ここに来てよかった。ここで働いてよかった。」という地域となるよう環境整備することが重要だと考えている。

石川 「地域医療を守る条例」の制定を進めよう！

町長 地域医療を守り育てるために制定するものだ。湖東病院の改築が進む中、医師確保や救急医療体制の確立など基盤整備を図りながら検討したい。



人員確保が必要

消防のあるべき姿を問う

石川 東日本大震災の時に、

わが町の消防だけが援助隊派遣ができなかった。県内13消防本部で援助隊に未登録は当町のみであったが、この状況は変わらないのか。

町長 現在も登録していない。

石川 総務省消防庁の公式

見解は「整備指針の目標を指して取り組む必要がある」とし、人的パワーが必要な消防は、人員確保が必要としている。充足率は向上したか。

消防長 職員充足率は当町が

最も低く52%であり、男鹿地区消防本部は91・1%である。整備指針では50名であり、消防車2台、救急車1台配備は基準を満たしている。

条例定数は29名で実員は26名

である。

石川 湖東病院が救急受け入れを止めてから、湖東消防から救急車応援を頂いているがこれまでで何件か。

消防長 50件である。

石川 通常業務が通常でできない現状は一刻も早く改善すべきだ。消防の人員増と救急車の予備車配置は喫緊の課題ではないか。

町長 条例定数を満たすよう進めていく。計画的に整備指針に沿うよう努力する。予備車配置も前向きに検討する。

除雪対策を進めよう！

石川 青森市では低料金で「間口除雪」をしている。高齢者・障害者の除雪支援の制度を作ろう。

町長 高齢者世帯が増加しており、除雪対策を講じなければならぬ。先進例も参考に社会福祉協議会、町内会などと協議して検討したい。

その他に

○馬場目小学校の活用と地域文化継承について

○地域公共交通の今後のあり方について

質問しました。

一般質問

アウトレットモールを五城目に！ 人口増、若者定住の起死回生の策



佐藤 慶彦
(無党派)

佐藤 10年後の高速道路と2空港のアクセスの良さを活かし、人口増への積極的な町づくりを目指してはどうか。

町長 当町は秋田県内を南北につなぐ重要拠点であり、今後、中国・韓国・ロシアなどの対岸諸国との取引が期待される秋田港・能代港2つの港へのアクセスにも優れている。この利点を活かし、企業立地活動に取り組むことは大変重要であると認識している。

佐藤 五城目町が生き残っていくためにはアウトレットモールの誘致が必要だ。高速道路が青森・山形方面へ開通したと仮定した場合、2時間以内で241万人の商圏になる。仙台は商圏300万で3つのアウトレットモールがある事を考えれば五城目にも十分チャンスがある。県はアウトレットモールの誘致を目指す市町村があれば県民のため

協力したいとの姿勢だ。また「アウトレットモールが地方に与える経済効果」という論文では観光客数や地方税の増加に寄与するため「町の活性化という視点で見れば、地方に良い影響を与えている」とある。アウトレットモール誘致は五城目の人口増、特に若者を惹きつけ定住するための起死回生の策である。



高速道路に隣接するアウトレットモール



親子連れ、若者でにぎわい

佐藤 企業誘致の現状と職員間の意識共有について問う。

町長 日本立地センターと契約し、工場適地や集積すべき産業などの基礎調査を行う。また千代田区内に五城目町東京千代田事務所を開設し、首都圏企業の情報収集を行えるよう環境を整備した。職員に関しては専門家による講演会を今後実施し、情報収集の体制作りを強化していきたい。

佐藤 積極的でスピード感ある活動を期待する。自分も議員として率先して誘致活動を行い年内20社の企業訪問を目標とする。経済産業省の多数に「企業誘致活動のリーダーは首長であり、トップセールスを行っている」とある。トップセールスを行っている首長の中には年間100社以上訪問している首長もいる。

町長 まだまだ足りない部分もあり、努力していきたい。

佐藤 町のホームページは、時代に対応していないのではないか。

町長 全面リニューアルから年数が経過し、対応が必要となっている部分が多い。リニューアルについては、総合発展計画の前期5カ年計画に盛り込んでいる。

教育の充実策を問う

佐藤 格差・競争社会における町の学力の現状、教育施策は。

町長 五城目町児童の学力は秋田県の中で平均をやや上回る成績である。町内小学校の統一学力テストを実施し、全国学力調査・秋田県学習状況調査の結果と併せ、町全体の児童の学力向上と課題改善を図っている。また学校生活サポート職員10名を町内各小・中学校に配置し授業環境の改善に努めている。

佐藤 土曜塾のような学力アップ施策が必要では。

町長 五一中と以前協議したが、中学生を対象とした事業は現在保留している状況であり、土曜日や長期休みなどの実施日も含め、生徒・保護者・学校と協議し検討していく。

その他に

- クレジット納税の導入、ふるさと納税の分野別細分化の導入について
- 巢鴨を手本とした朝市振興策について
- 宮崎県庁ツアーを手本とした五城目観光ツアーについて

質問しました。

一般質問

空き家急増、対策条例は！

町長 代執行制度も含めた 条例を制定したい



石井 光雅
(青雲会)



崩壊した空き家

石井 空き家の急増で積雪による崩壊や放火が各地で発生。大量のゴミが捨てられたり、景観を損ねたりするなどの問題を引き起こしている。町の空き家棟数と所有者不明棟数は。

町長 平成21年度に実施した調査では、空き家棟数が343棟、うち所有者不明の棟数は92棟となっている。

石井 対策条例制定の考えはあるか。

町長 代執行制度のあり方も

含めた対策条例の制定を考えている。
石井 空き家対策関係予算5年間で700万円計上しているが、何をするのか。
町長 今年度は420万円でアルバイト調査員2名を雇用して、空き家の台帳整備を行なっている。25年度から28年度まで280万円を計上して「空き家利活用計画」を作成する。

都市計画の見直しが必要

石井 都市計画の見直し作業に着手しているが、その内容は。

町長 コンパクトな街づくりを目指し、用途地域については、住宅建設促進のため規制を緩和し、地形的条件から住宅の建設が進まず用途指定の必要性が薄れた地域は除外した。都市計画道路は、将来、実現性が著しく乏しい路線について廃止とした。

石井 高崎地区の工業地域に工業団地を造り、企業誘致の考えはないか。

町長 工業団地として整備するには、用地取得、造成、道路、上下水道の整備など多額な投資が必要なことから、企業誘致の目処が立った時点で

検討したい。
石井 国道285号沿いの農地を農振解除して、イオン周辺をもっと活性化させる考えはないか。
町長 「中心市街地活性化基本計画」を定め、街なかに人を呼び込む政策を揚げており、現時点でこの沿線の用途地域指定は考えていない。

消防本部の統合計画は

石井 男鹿、南秋地区3消防統合はなぜ進まないのか。

町長 大枠では協議済みとなっているが、負担金のあり方で結論が出ていない。秋までに全ての項目で調整を済ませ、来年4月1日から一部事務組合としてスタート出来ると考えている。

石井 統合を見送って、単独でいく考えはないか。

町長 統合に向けて協議中であり、今のところ単独でいく考えは持っていない。

被災地のがれき処理と復興支援は

石井 被災地で一番困って

いる、がれきの処理を八郎湖周辺清掃組合で処理できないか。

町長 がれきの受け入れについて組合で検討したが、施設は処理能力が1日60トンと小規模な上、ごみ搬入口の幅が狭く、がれきを運搬する大型車両が乗り入れできない。がれき保管には新たなストックヤードが必要であり、組合では受け入れは困難との結論に達した。

石井 復興支援のための買い物ツアアの計画はないか。

町長 支援事業の一環として、花巻にアンテナショップ「結海」をオープンした。復興支援の一助として、五城目、大槌の住民による交流会を年3回ほど計画している。また町で開催する各種イベントに被災地から物産品を取り寄せ販売するなど、復興支援について今後も充分配慮していく。

その他に

○橋梁補修補強事業について

○総合発展計画について

○庁舎内の禁煙対策について

○ラスパイレース指数の向上について

質問しました。

農家の担い手育成と確保対策は

一般質問

町長

「人・農地プラン」の策定を図り 地域の合意形成を目指す



佐々木仁茂
(21期会)

佐々木 農家戸数の減少や農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などで将来に不安を抱く状況にあり、今後担い手不足が深刻化することが予想される。町は担い手育成と確保にどのような対応していくのか。

町長 地域農業の経営継承を円滑に行うため、営農を継承する経営体や農地の集積方法など集落や地域内の徹底的な話し合いを通じた合意形成による規模拡大を目標とする「人・農地プラン」の策定を図って行く。プラン策定にあたっては、認定農業者を中心としながら集落や農業班長への説明会を開催して地域合意のもとに進めていく。

また本年度は、2名の方が新規就農の見込みであり担い手として期待されている。

特産品開発の取組みを

佐々木 新たな特産品開発と町振興作物の作付拡大や産地化にどう取り組んでいくのか。

町長 現在の特産品として力を入れていくキイチゴ、酒米は需要が増加し生産量の確保が課題なので、今後さらに生産者底辺の拡大や高品位栽培の取り組みを進めていく。振興作物は、カボチャやえだまめの作付拡大を推進していく。

土石流災害の対応は

佐々木 岡本一区町内で過去2回発生した土石流災害の対応は。

町長 16年の災害については、森山下地区復旧治山工事として平成18年12月に完了し



危険な土石流

ハザードマップを有効活用しよう

佐々木 洪水ハザードマップを公民館や各町内集会場へ掲示したらどうか。マップに載っている土石流危険地域への対応はどうするのか。

町長 ハザードマップの公民館や集会場への張り出しについて早急に対応する。

また、土砂災害危険区域として掲載された、町全域の危険区域に治山事業が必要なので、災害発生予防のため県と協議を進めていく。

朝市振興策は

佐々木 朝市の出店者減少などの課題にどう取り組んでいくのか。

町長 出店者確保のために、出店者貸出しテントを購入し出店環境の改善に努めていく。また、「お客様感謝デー」の実

ている。昨年6月の災害については、現在危険な状態となっているため早期施行に向けて県と協議し設計の段階まできている。工業者が決定するお盆前には、住民説明会を開催し工事を進めたい。

道の駅と直売所の位置づけは

佐々木 道の駅と直売所は、観光振興の役割を果たせる重要な施設だが町の位置づけは。

町長 町の観光振興において重要な施設と考えており、町として今後、駐車場舗装を含む外構整備や、正面入り口の自動ドア化、厨房備品の更新など利用者の満足度アップと利用者増に努めていく。

施やイベントの開催などで朝市の振興を図る。



校外学習（朝市で）

その他に
○そば栽培の奨励について
○学校教育における野外学習活動について
質問しました。

一般質問

災害時の安全・安心対策として「防災ラジオ」の活用を

町長 有用な手段である



畑澤 洋子
(公明党)

畑澤 災害時における緊急連絡網や防災行政無線は、町民の安全、安心のため重要な施策である。横手市では防災ラジオを65歳以上の独り暮らし世帯、夫婦世帯、障害を持つ方々、民生児童委員、消防団幹部、避難所になる小中学校、保育園などの施設、高齢者障害者施設に配備している。当町の計画はどうなっているか。

町長 防災行政無線については、昨年度の調査で、約4億円の試算であり、その後の維持費も必要で総合的に検討する。「防災ラジオ」は携帯電話のエリアメールなどと共に有用な手段と考えられ総合的に検討、判断する。

地域医療の構築にむけて

町長 地域医療を守る体制づくりをすすめる建設費負担分は1億3,200万円

畑澤 たくさんの方々応援を頂き湖東総合病院の存続と病院改築が決まり、町民は喜んでいる。病院は未来に残す大事な地域の医療施設だ。健全な状態で次の世代に渡せるようにしたい。改築費負担金とその後の運営費補助は。

町長 総事業費24億7,000万円を厚生連、県、地元町村で負担する。当町は1億3,200万円を負担。運営費補助は県2/3、地元町村1/3を負担。平成25年度から平成30年度までの支援を決定している。



地域医療の最前線（湖東病院の待合室）

畑澤 医療のネットワーク化への取り組みは。

町長 現在、町と医療機関との情報を共有するシステムはないが、将来にわたって安心して生活できるように地域医療を守るための体制づくりが必要と考えている。そのための事業を推進したい。

若者定住策としての住宅政策を

畑澤 若者が町外に出て行く原因のひとつに町営住宅の不足があげられる。家賃や通勤費の差で、逆に若者を定住させる事はできないか。町営住宅の老朽化による破損修理の定めがない。敷金などを弾力的に運用できないか。一定期間を経た住宅の払い下げ、町営住宅建築の計画はあるのか。

町長 町営住宅の修理負担区分は、公営住宅法で定められている。払い下げは「五城目町公営住宅管理計画」を策定し県、国と協議していく。新築は需要とバランスを見極め検討していきたい。

公共施設に「赤ちゃんの駅」の設置を

畑澤 未来の大切な宝の赤ちゃんとお母さんのための授乳スペースを。

町長 各施設の利用状況を見ながら環境整備に努めていく。

一般質問

五城目町は だいじょうぶ？ 財政！救急医療！津波！除雪！



齋藤 晋
(21期会)

財政は大丈夫か

齋藤 今後の財政計画はあ
るのか。

町長 少子化・高齢化・過疎
化が進展し今後自主財源の増収
は見込めず、町予算の半分を地
方交付税など、国・県に依存し
ており、町財政は厳しい状況が
続いている。

こうした中「五城目町総合発
展計画」を着実に実施し、ひき
続き「五城目町第4次行政改革
推進プログラム」を推進し健全
な行政運営に努めたい。

救急医療をどうするか

齋藤 湖東病院が出来るま
で町民の安全安心をどう維持
するのか。

町長 平成26年5月に新湖東
病院が救急搬送を受け入れる

まで、秋田組合総合病院をメ
インに市内の病院の協力と広
域消防やドクターヘリなどの
応援をもらい、救急医療を拡
充していきたい。



救急医療を支える救急車

津波対策はあるのか

齋藤 想定外の地震津波が
発生した場合、五城目はどう
なる。

町長 県の津波調査が今年度
中にまとまるので、調査結果
を踏まえ判断し実施したい。

五城目町の海抜について
(避難所)は左記の通り。

大川小学校	4・0 m
農村改善センター	4・2 m
五城目高校玄関前	5・6 m
湖東病院	7・5 m
野田公民館	5・7 m

除雪の基準は

齋藤 除雪後の残雪量に違
いがあるが、基準があれば違
いや良否は発生しない、基準
を作っているか。

町長 除雪は積雪10センチを
基準に午前2時から7時まで
とし、地区により降雪量が違
うため、町が総合的に判断し
指示している。

齋藤 除雪後の基準はない。
昨年苦情が多く寄せられた
が除雪の良否は何故発生す
るのか。

町長 除雪の良否は路線の違
い・道路幅員・障害物・間口
などの違いなど業者により除
雪についての考え方が違うた
め良否が生まれる。今後、除
雪業者に対し除雪方法などの
指導を強化し改善する。

齋藤 除雪後に残雪量の確
認、良否の確認はしているか。

町長 除雪の確認は除雪業者
からの報告書により確認して
いる。今後はこまめなパトロ
ールに努めたい。

役場前(水準点)	7・9 m
五城館前路上	7・0 m
町民センター	13・9 m
もりやまこども園	11・0 m
五城目小学校	19・6 m

齋藤 最近町の降雪量は以
前より多いため、排雪が必要
である。排雪の基準は有るの
か、誰が判断し指示するのか。

町長 パトロールにより通行
に支障が出そうな場合や町内
からの要望など除雪業者・警
察・消防・バス会社などから
の情報で確認し、町が判断し
排雪を指示している。



津波被害のつめ跡

その他に

- 公共交通の今後について
 - 地元での雇用創出について
 - 高齢者の社会参加について
 - 高齢者の支え合いについて
 - 広域消防の進捗状況について
 - 広域消防との連携について
- 質問しました。

教育民生 常任委員会

「し尿処理施設」と 「消防庁舎」の建設に 議論が集中！

し尿処理場は
原案反対が多
数となる

補正予算に計上された、し尿処理場建設に向けた事業費（450万円）について委員からは「現場の説明では6〜8年持つとっている。」「八郎潟町・井川町との広域化に向けた協議が不十分だ。」「補助金もなく、6億円も町単独負担となると計画性が必要で、今回の提案は唐突すぎる。」などと否定的な意見が相次ぎ、委員5人中で原案に賛成の意見は1名のみとなった。

消防庁舎は
原案賛成多数

消防庁舎建設のための事業費（1,963万円）を巡っては、賛成、反対の意見が続出。「町の執行権の行使なので、そのように進めれば良い。」「防災機能を加えるのであれば、もっと広い土地が良い。」「諮問した建設協議会への了解がないのではないか。」「消防署

太陽光発電設備を設置

総務 常任委員会

町役場の職員駐車場に太陽光パネル96枚を使用して、発電設備が設置される。町負担はなく全額が補助金（再生可能エネルギー等導入推進臨時対策基金事業補助金）で、総額2,940万円。

委員 一般電源につながる設備は高額で、後からつなぐとなると町負担となるが、どうなっているのか。

当局 それらの設備経費も全額、含まれている。節電についてはこれまでも役場庁舎内の節電に努めてきた（エアコ

国民文化祭に向け「実行委員会」を立ち上げ

平成26年度に本県で「第29回国民文化祭・あきた2014」が開催される。町が主催する事業の基本計画の審議が必要となるため、実行委員会委員の報酬を定めた（日額4,000円）。

固定資産税の減額措置（新築住宅）が延長されます

住宅用地の税負担軽減のため、課税特例の継続について審議。委員からは「町民の実益が伴うものであり、もっと分かり易く広報などで周知すべき」とした。

（石井 光雅）



役場駐車場に太陽光パネル設置



老朽化したし尿処理施設

員、協議会委員を対象としたアンケートの結果が全く反映されていない。「関係者への説明が不十分だ。」など意見が分かれた。原案（建設に向けた調査設計委託料など）賛成が3、反対が2となった。結果として「し尿処理施設建設事業費450万円」を多数で補正予算から削除・修正し、委員会修正案を本会議に報告することとした。

中山遺跡の発掘調査は8月27日から開始

弘前大学の調査関係者が来町（20名）する。8月27日から9月21日までの25日間、町民センターに宿泊して調査活動を展開する。

縄文時代の種子の調査が主目的で、平成27年度に研究成果の発表と報告書刊行を予定している。

各委員からは「研究しやすい環境の整備を」「町として思いやりのある対応を」などの意見が出された。



遺跡調査が始まる

富津内地区町内会長会から提出の「消防署移転建設地誘致に係る陳情」は採決となり、不採択とすべきものが3人、継続審査の主張が2人（委員長除く）で、不採択すべきものと決した。（佐藤 慶彦）

委員会の焦点

暴風被害の復旧支援事業補助金決まる

4月の暴風によるパイプハウス、畜舎などの農業生産施設の被害状況が調査の結果判明した。パイプハウス全倒壊26棟、一部倒壊20棟、ビニール破損114棟の被害である。被害総額は約1,850万円。

パイプハウスで全壊及び半壊は、対象事業費が10万円以上の場合、国30%以内、県1/3以内、町1/3以内となり、ビニール破損のみで事業費が10万円未満の場合は国30%以内、町1/3以内となっている。

これらに対する町支援補助金823万円が補正予算として計上された。

委員からは「申請受付はい



暴風被害は深刻

つから行なうのか。」「パイプハウスの被害写真の添付は難しいのではないか。」などの質疑があり、当局からは「『チラシ』の配布で6月18日から28日まで受付を行なう。」「復旧後の写真や資材などの納品書や領収書で確認したい。」と答弁があった。

農家にとって春作業の出鼻をくじかれた事態だっただけに、この支援で前向きに営農に取り組むことを期待したい。

空き店舗対策事業に期待

中心市街地の活性化を図るため、商店街、団体や新規出店者が行なう空き店舗対策事業費の補助金として、改修費200万円、借上げ料44万9千円が予算計上された。

当局からは、新規出店者は3/4とし優遇している。現在数名の方から事業についての問い合わせがあるとのこと、朝市通りの賑わいに繋げる意味でも出店者が現れることに期待したい。

（佐々木仁茂）

こんなことを審議しました

産業建設常任委員会

議員研修報告

佐藤 慶彦

研修期間 平成24年5月14日～18日

研修先 滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所

研修名 市町村議会議員研修地方自治基本コース

全国から53名の市町村議員が参加。最年少は25歳、女性は10名の参加。基本コースのため新人や、2期目の方が中心。40、50代の方が大半であり、講師陣は地方政治が専門の大学教授であった。

初日はオリエンテーションと交流会。2日目、地方自治法・地方議会改革の課題と議会制度についての講義。3日目は地方税財政の課題と税財政制度についての講義。4日目はグループ討論。同じような規模や問題を持つ市町村議員13名での討論。その後、分権時代の地方議会に期待されていることについての講義。5日目は諸外国の制度や歴史的経緯をふまえての地方自治制度の再確認の講義。

講義は、地方自治法に始まり、二元代表制、議会改革、定数削減問題、政務調査費など



白熱したグループ討論

どの格差問題など直近の事例を勉強することができた。研修に参加し強く感じたのは、議員として何をするのに情報公開の徹底が必要であるということ。議員活動に関して記録し、報告会やネットなどで公開し、有権者目線でも何をしているのか理解してもらうことが必要で、それが今求められている議会改革の方であると感じた。

研修には、私費参加の意識の高い方もおり、そういった方が研修をより良いものにしていった。当町では政務調査費の支給は無いものの今後可能な限り様々な研修を受け、学んだ事を町民の幸福の向上のため役立てていきたい。

今回は先輩議員の配慮もあり研修の場を与えて頂いたことに感謝している。

請願 陳情

請願

採択

◆「西野橋」改修の早期実現を求める請願

西野町内会

会長 佐藤 悦郎

陳情

採択

◆救急電話相談室（#8000）の成人対応などを求める陳情書

湖東病院を守る住民の会

会長 斉藤久治郎

継続審査

◆消防署移転誘致に係る陳情書

富津内地区町内会長会

会長 原田 行雄

意見書送付

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

救急電話相談室（#8000）の成人対応などを求める意見書

提出先

秋田県知事 佐竹 敬久



西野橋の早期着工を

第3回 臨時会 5月1日

提出案件は平成24年度一般会計補正予算案など2議案を可決、専決処分2件を承認して閉会した。

同補正予算は1千792万5千円の追加。累計50億5千292万5千円。

主なものは4月に発生した暴風被害による町有施設の修繕費。花巻市のアンテナショップ「結海」のオープンイベント参加に伴う経費など。

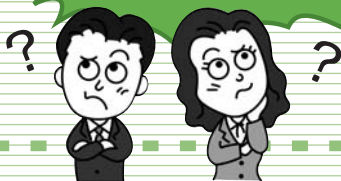
五城目、大槌両町の 特産品を販売する アンテナショップ 「結海」開店

昨年の大震災発生時、五城目町のツアー客が無事避難誘導されたことをきっかけに両町の中間にあたる花巻市に5月11日にオープン。金婚漬で知られる「道奥」の空き店舗を活用して五城目町はダンス、建具、山菜など大槌町は海産物などを販売。両町の交流と絆がさらに深められることを期待したい。

（伊藤 正春）



あれ



なんとになったべが!

平成23年6月定例会一般質問より



発電機を17台購入

問

子どもの医療費無料化の拡大を。

答

現在は未就学児、ひとり親家庭で18歳までの子ども、身障者の方に福祉医療費受給者証を交付して全額助成している。今後は所得制限を撤廃したい。

現在

助成制度が拡充され、平成24年8月1日より小学1年生～6年生も対象となる。県基準の所得制限を超えた世帯については町単独で助成する。ひとり親家庭、障害のある方については今までどおりである。

問

神明社前の狭いカーブの道路を改修しよう!

答

狭くて見通しも悪く、危険であることは十分認識している。県に強く要望していく。

現在

県道整備促進期成同盟会で現地視察を行ない、県知事に要望書を提出するなど機会あるごとに県に要望している。平成23年10月18日には秋田地域振興局建設部次長、企画調査課長と現地確認も行なっている。

問

災害に備え、備蓄品の充実と被災者支援システムの構築を。

答

現在は避難所24か所、避難公園17か所を避難場所に指定している。今後は高い防災機能を持つ施設整備や備蓄品の充実をめぐる。防災行政無線は基本設計に着手する。

現在

停電時の対応として役場や各地区公民館、学校な



神明社前の狭いカーブ

どへ非常用電源の発電機を新たに17台購入した。上水道については大型発電機を購入し、停電時でも給水可能となっている。備蓄品は検討中で、防災行政無線などの連絡網についても、昨年度の調査業務報告書をもとに、町にあったシステムについて検討中である。

(石川 交三)

議会議員

全員協議会

平成24年4月19日

協議案件

東日本大震災復興支援及び交流事業について

報告案件

4月3日～4日の強風被災について

千代田区からの寄贈について

役場庁舎からの落雪による自動車損傷に対する損害賠償について

平成24年5月24日

協議案件

し尿処理施設建設計画について

消防本部庁舎建設計画について

報告案件

「第29回国民文化祭五城目町実行委員会」設立について

いちび たずねて

大宮 国勝さん
ツエ子さん
(岡本字下台)



ないので天候が気になります。やはり雨の日は大変です。

◆楽しい事は何ですか。

大宮 お客様との会話が楽しいです。時々得意の尺八を演奏して喜んでもらっています。

◆売れるように工夫している事はありますか。

大宮 時々イベントがあるので賑やかでよいが、午前中だけなので時間が足りない。売れ残らないように安くしたり、おまけをするとお客様は喜んでくれます。

◆活性化のために、どうしたら良いと思いますか。

大宮 今の場所はアーケードもないし、駐車場も近くにない。これからは車にすぐ荷物をつめる広い場所で、衛生的に商売ができる所が良いと思います。人が集まる場所はどこか考えてほしいです。元のポウリング場とかが最高だな。

(取材：畑澤洋子)

大宮 テントを張る設備が

大宮 6年ぐらいになります。

大宮 きっかけは何ですか。山が好きになり山菜を採るようになり、友人にあげたりしていましたが、売ってみようと思いはじめました。

大宮 つらい事はないですか。

がんばってます



広青苑 優 さん
加藤 (浦横町)

今年の春から特別養護老人ホーム 広青苑で介護福祉士として働かせて頂いています。

緊張し、毎日考えながら仕事をしています。最近はお名前を呼んで頂いたり、世間話をしたりと、気軽に声をかけてもらえるようになったと思います。

施設での仕事は利用者の方一人ひとりに合ったケアをし、日常生活を支える仕事です。また、命を預かる仕事でもあるので、常に緊張感を持って仕事をしながらはなりません。学生の頃の実習とは違い、大きな責任があるのだと感じます。だからこそやりがいのある仕事だと思っています。

入社して始めは何をすればいいのか解からず、先輩方に聞いてばかりでしたが、職場の方は優しく丁寧に指導してくれました。利用者の方々と接する際に

(取材：佐藤慶彦)

編集 後記



ことのほか厳しかった今年の冬。待ち遠しかった桜の開花もあつという間に過ぎ、山々の緑が「すっかりがんばれ」と励ましているようだ。

迎えた初の定例会。一般質問で先輩議員に続き、新人5人が登壇した。緊張のデビューはまたたく間に終わってしまった、思い出そうにも記憶もさだかでなく、ただ議場で閃いた「カルガモ」の親子の巣立ちに似ているかなと想像したことを覚えている。

国会では消費税と社会保障を巡り、毎日熾烈な戦いをくり返している。新聞、テレビの報道はさまざまで、どれも焦点が生活者とかげ離れている気がする。町民の生活は、被災地の今後はどうする。党利党略より国民と真摯に向き合う政治家は誰か注目したい。

畑澤洋子 記